

平成 28 年熊本地震被災地の 第 4 次アスベスト大気濃度調査結果について



環境省は熊本地震の被災地において、平成 29 年 1 月中旬から3月上旬に第 4 次アスベスト大気濃度調査を実施し、その結果を発表しました。

概要は以下の通りです。

測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4 版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)

位相差顕微鏡法により総繊維数濃度を求め、総繊維数濃度が1本/L を超過した試料については、位相差/偏光顕微鏡法により、アスベスト繊維数濃度の測定を実施。

調査地点・調査結果

調査地点:18 地点 56 カ所(熊本県内の以下いずれかの解体工事現場や避難所周辺を対象)

※内 10 地点は、第 3 次アスベスト大気濃度調査からの継続地点

調査結果:

- ①倒壊、半壊または一部破損している建築物等で解体・改修中現場周辺
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:有り(アスベスト繊維数濃度は、1 本/L を超過せず)
- ②倒壊、半壊または一部破損している建築物等の周辺
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し
- ③災害廃棄物仮置場の周辺
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し
- ④廃棄物中間処理施設等の周辺
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:有り(アスベスト繊維数濃度は、1 本/L を超過せず)
- ⑤避難所等の周辺
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 平成 29 年 3 月 21 日付 環境省報道発表資料

研究開発箇所 杉田高則

